

おおさか

発行所: 大阪府看護連盟

〒536-0014

大阪市城東区鶴野西2丁目5番25号
ナーシングアート大阪

電話 06-6964-5655

FAX 06-6964-5665

発行人: 前川 マキコ

発行日: 平成23年6月13日

印刷所: 新栄印刷

No. 11-2(通-43)

平成
23年度

特集

通常総会開催



「寄り添って、支え合って自分らしく咲こう、未来の実り信じて」 写真 小阪佳代氏

平成23年度 総会にむけて……………	2	平成23年度 役員候補(案)……………	6
平成23年度 通常総会プログラム……………	3	東日本大震災・支援物資搬送報告……………	7
平成23年度 スローガン(案)……………	4	追悼 明治橋支部 永田由紀子支部長の早すぎる鬼籍…	8
平成23年度 活動計画(案)……………	4~5	看護学生・新入会員研修報告……………	9
平成23年度 予算(案)・規約一部改正(案)…	6	お知らせ……………	10

平成23年度 総会にむけて

～看護の夢を実現させよう～

大阪府看護連盟 会長 前川 マキコ

3月11日東日本巨大地震、津波災害でお亡くなりになられた皆様、被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます

報道を見ながら、現地の看護師からの悲惨な状況と声に16年前阪神淡路大震災を体験した私は、看護職の頑張りはさらに、危険で緊張を強いられ、津波に加え放射線問題に交通手段、ガソリンが入手困難と、無い無いづくしの中で高階議員と電話で、病院に働くナースの現状、今欲しい支援は何かと聞き、支援物資が届いていない現状に何とかしなければと、寄付金はどうなったのと とにかく行動と、時、同じに、看護を考える地方議員の樽本議員が中心に多くの皆様にご支援をいただき、仙台市、石巻市に入るからと、冨田連盟会長さんに連絡を取り、4月8日大阪をたち往路は支援物資を届けたい一心だったが帰りは、状況の悲惨さに、無言でしたと胸の内を、さらに、中学生の息子さんが、同行したいと希望したが状況把握から連れてゆくべきか、迷ったと話してくださった。

東日本に住む友人とも電話で話し、4月は病院では明るく働くのですが、家に帰ると、かたづけ、水の確保、食品の確保と気分が落ち込み、色々あった5月に入り、やっと、元気が、大阪から直送便がやっと可能と聞き 大きなバームクーヘンを送ると 美味しい菓子が届いたとの声にホット、頑張りすぎるなど心配しつつ

被災地の皆様に一日も早い日常生活がもどりますように
大阪府看護連盟総会を6月29日に予定しています。

これからの活動ほか、検討したいと思います、多くのご参加を
「看護の夢を実現させよう」

そのために、誰でもが、どこでも、伝えられ、理解される内容で「基礎研修大阪版」をワーキンググループが作成、各支部、施設支部で新入会の方に是非お使いくださいね。



平成23年度 大阪府看護連盟 通常総会プログラム

日 時 平成23年6月29日(水) 13:30~16:30
 会 場 ナーシングアート大阪 レモンホール

第一部

- 12:45 開 場
- 13:25 オリエンテーション
- 13:30 開 会
 物故会員への黙祷
 挨拶 大阪府看護連盟会長
 来賓挨拶・来賓紹介・祝電披露
- 14:10 議長団選出
 ●平成22年度看護連盟通常総会議事録朗読
 経過報告 ●都道府県会長 ●都道府県会長・支部長合同会議
 ●近畿ブロック会長会議
 ●大阪府看護連盟役員会・青年部会
 ●平成22年度活動報告・支部活動報告
 ●平成22年度決算・監査報告
- 審議事項 ●第一号議案 平成23年度スローガン(案)
 ●第二号議案 平成23年度活動計画(案)
 ●第三号議案 平成23年度予算(案)
 ●第四号議案 規約一部改正(案)
 ●第五号議案 平成23年度役員選出(案)
 新役員紹介および旧役員代表挨拶
- 綱領宣言
 日本看護連盟の歌斉唱
- 15:30 閉 会

第二部

- 15:35 自由民主党大阪府看護連盟支部総会報告
 閉 会
- 15:45 終 了

第三部

- 15:50 「基礎研修大阪版」発表
- 16:30 終 了

第一号議案 平成23年度 スローガン(案)

ベツトサイドから政治を変える!

第二号議案 平成23年度 活動計画(案)

重点目標

**組織力の強化
会員数8,000人を
目指す**

重点活動

1. 施設訪問を徹底し地域における看護の実態を把握する
2. 地域における問題を整理し解決できるように働きかける
3. 特に中小病院へ支援体制の情報を提供する
4. 「現場の声」を基本に看護政策の実現を促進する

項目	目 標	活 動	手 段・内 容
政治力の強化	政策実現力	<ol style="list-style-type: none"> 1) 関連情報を速やかに入手し会員へ効果的に提供する 2) 陳情・要望活動を行う 3) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 4) 現場の声を国会議員・地方議員に積極的に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・FAXニュース、メールマガジンよりの情報、機関誌の配布 ・大阪府・大阪市、国会議員・地方議員その他団体への要望・陳情活動の実施 ・国会議員や看護を考える地方議員との勉強会や意見交換会を行い看護の問題を理解してもらい解決へと繋げる ・「現場の声を聞かせてください」の収集報告
	議会への影響力の強化	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護職の国会議員を確保する 2) 国会への影響力を強める 3) 地方議会への影響力を強める 4) 中長期的視点に立ち議員候補者を育成する 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 第23回参議院議員選挙に向けた活動を行う 2) 次期衆議院議員選挙に向けた体制を整備する 3) 関係団体との連携を強化する 4) 大都市対策を進め、会員及び施設支部を増やす <ul style="list-style-type: none"> ・本部と大阪府の重点目標や重点活動等を役員会や研修会を通して周知する ・府役員と支部役員・リーダーとの連携強化 ・選挙応援、活動応援をする ・看護を考える地方議員との連携 ・施設支部の拡大と支援 <ul style="list-style-type: none"> ・国会議員の開催する国政報告会や研修会への参加 ・通常総会・互礼会への案内 ・看護問題について勉強会や意見交換会 ・会合・研修会への出席 ・適任者の推薦・支援 ・卒業生による研修

項目	目 標	活 動	手 段・内 容
組織体制・活動	1. 組織体制の確立	1) 支部役員の意識強化をし、主体的に活動できるようにする 2) 会員活動を支部中心とし、会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 3) 支部との連携を強化しきめ細かな支部活動を進める 4) 青年部の活動を支援し組織体制の確立を図る 5) 看護管理者や看護教育者の政治参加をすすめる	・組織のあり方検討委員会の情報を伝え意見交換する ・本部との支部別会議を通して意見交換する ・本部とのリーダーセミナー合同開催 ・施設訪問の徹底実施 ・会員目標（8,000人） ・特別会員を募る ・府役員・支部役員・リーダーとの連携強化 ・合同役員会年2回開催 ・会員を増やし会員間のネットワーク構築 ・青年部への活動支援 ・看護管理者教育者の研修やセミナー参加増を図り意識を高める
	2. 若手会員の育成	1) 若手会員の主体的活動を充実・促進させる	・若年層を対象とした研修会等開催 ・23年度ポリナビ全国大会への参加
	3. 学生会員の獲得と育成	1) 学生会員に看護政策の必要性について分かってもらう	・全施設への学生会員申込書の配布 ・機関誌“おおさか”の配布 ・ポリナビワークショップ等への呼びかけ
	4. 連盟への理解者を増やす	1) 他団体との連携強化	・意見交換 ・機関誌“おおさか”等の配布
知識の普及・啓発	1. 研修会活動を積極的に推進し研修の体系化を実現させる	1) 支部が中心となり研修会を積極的に開催する 2) 府は支部でできない研修を開催し充実を図る 3) 教育者が看護政策を基礎教育で教育出来るように働きかける 4) 看護管理者が議会へ看護の代表者を送ることの意義を理解し組織活動が展開できるようにするための研修会を開催する 5) 若手会員の選挙参加促進のための研修会を開催 6) 支部役員の連盟に関する理解を深める 7) 基礎研修の徹底 8) 選挙活動の推進を図るため研修	・新入職者対象の基礎研修 ・ミニ研修 ・その他研修の開催 ・基礎研修（1～2年目対象） ・卒後予定の看護学生対象の研修（平成24年2月予定） ・その他研修 ・施設訪問 ・セミナーの開催 ・看護管理者対象の研修 ・セミナー、ワークショップの開催 ・青年部主催の研修やイベント ・新人支部長研修 ・本部との合同主催のリーダーセミナー（12月予定） ・基礎研修全会員受講を目指す（各支部及び府で） ・看護を考える地方議員の選挙期間中議員事務所でのボランティア活動
	2. 会員の声を政策提言に活用する	1) 「現場の声を聞かせてください」を集める 2) 機関誌“おおさか”に各支部会員の声を集め掲載する	・研修後の記載を徹底 ・「現場の声」を集約・分析
活発な情報流通	2. 会員及び非会員に対する広報活動を推進する	1) 機関誌を発行する 2) ホームページの運営 3) 連盟に対する会員の理解を深める 4) 政治・選挙に関する会員の理解を深め行動する会員を育成する 5) 看護職議員の活動を周知する	・機関誌年3回(5月・9月・1月)発行 ・ホームページの充実と定期的更新 ・連盟紹介のグッズの活用 ・施設訪問 ・各議員事務所との連携 ・国政報告会への参加、議員事務所との連携、機関誌への情報掲載 ・議員の活動報告を随時知らせる
	1. 施設・支部・都道府県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	1) 定例会を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する 2) 協会との連携を強化し、意思疎通を図る 3) 本部・都道府県・支部間の日常の意見交換を通して意思疎通を図る 4) 支部・施設支部の運営を支援する	・連盟・協会総会出席（本部・府） ・全国会長会議・ブロック別会長会議出席 ・役員会及び支部役員合同会の開催 ・役員会は原則 月1回 ・役員会は活発な意見交換の場とする ・支部役員会の月次報告
組織の適正な運営管理	2. 事務局の運営を適正に行う	1) 会員を適正に管理する 2) 財政を適正に管理する 3) 職員を適正に管理する	・会員管理システムの推進
	1. 慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	・災害見舞い・物故者への慶弔 ・お祝い・その他
会員の福祉	2. 諸問題への対応	1) 専門家と相談の上、速やかに問題解決する	・自由民主党弁護団との連携

第三号議案 平成23年度 収支予算(案)

(収入の部) 自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日 (単位：円)

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
I 会 費	24,000,000	27,000,000	△ 3,000,000	@3,000×8,000人
II 賛 助 会 費	100,000	200,000	△ 100,000	@1,000×100人
III 研 修 会 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
IV 助 成 金	15,400,000	13,526,250	1,873,750	
V 広 告 料	100,000	100,000	0	
VI 雑 収 入	1,000	1,000	0	
当期収入合計(A)	40,601,000	41,827,250	△ 1,226,250	
前期繰越収支差額	37,408,937	34,609,642	2,799,295	
収入合計(B)	78,009,937	76,436,892	1,573,045	

(支出の部) (単位：円)

項 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
I 会 議 費	7,200,000	5,400,000	1,800,000	
総 会 費	2,200,000	2,500,000	△300,000	
役 員 会 費	5,000,000	2,900,000	2,100,000	
II 事 業 費	51,000,000	51,360,000	△360,000	
機 関 紙 発 行 費	3,500,000	3,500,000	0	
活 動 費	23,500,000	27,360,000	△3,860,000	
教 育 費	8,000,000	6,500,000	1,500,000	
組 織 対 策 費	16,000,000	14,000,000	2,000,000	
III 運 営 維 持 費	19,760,000	19,670,000	90,000	
人 件 費	151,600,000	15,000,000	160,000	
需 給 費	4,600,000	4,670,000	△70,000	
IV 予 備 費	49,937	6,892	43,045	
当期支出合計(C)	78,009,937	76,436,892	1,573,045	
当期支出差額(A)-(C)	△ 37,408,937	2,085,630	△ 2,799,295	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

第四号議案 規約一部改正(案)

第五号議案 役員選出

平成23年度 改選役員候補(案)

副 会 長	橋 口 富 枝	協和会支部長	前 田 千保子
幹 事	城 戸 滝 枝	東淀川支部長	今 井 博 美
幹 事	高 戸 廿子工	市西支部長	長 辻 玲 子
幹 事	宮 地 緑	暁明館支部長	高 浦 和 子
幹 事	石 本 妙 子	千船支部長	小 室 寿 子
監 事	岩 本 尹 子	盛和会支部長	山 城 貴美子
		明治橋支部長	鍵 本 由起子

東日本大震災・支援物資搬送報告



たると議員

東大阪市議会議員 たると 通史

たかがい恵美子先生の地元の宮城県が被災されたという事で、大阪府看護連盟の名代として、4月8～10日に宮城県仙台市～石巻市に行ってきました。

「看護を考える議員の会」を通じて、物資収集を呼び掛けましたところ、下記のようにたくさんのご支援をいただき、1人1人がほんの少しの優しさで広がる大きな輪を実感することが出来ました。

最終的には、子供服(ズボン、シャツ等)約650枚、タオル(ハンドタオルやバスタオルなど含む)約780枚、大人用下着類(男女共)300枚、即席みそ汁1200食、文房具、生活備品など、みかん箱にして約30箱に上る物資が集まり、ワゴン車に積み込んで、私を含めて2名で仙台市に向かいました。往復、約1900kmの道のりです。ガソリンも入手出来るか不明のために携帯缶に燃料を補充しながら、およそ12時間で仙台市に入ることが出来ました。(表・写真参照)

物資を看護連盟事務所に運び込んで、一部の物資を石巻市の渡波小学校に持っていくことにし、仙台市から石巻市に向かって行くと段々と被害が大きくなる光景に言葉数が減って行きました。現地は、映像で見るより悲惨な状況で、自然災害、津波の凄まじさを目の当たりにし、言葉になりませんでした。人間の無力感とでも言いますか…

一緒に同行頂いた宮城県看護連盟の富田会長から、まだ捜索活動中で入ることが出来ない地域があるとか、また17世帯50数人の地域で安否確認が出来たのは3人だけ、ご遺体には痣があって、生きながら身体が何かにぶつかり亡くなっていったなど、生々しい実状を聞き、現地に行かなければ伝わって来ない事がいっぱいあると痛感いたしました。

そして物資は「生もの」という事も実感しました。被災地では、今すぐに必要なものを求められます。従って行ってから1週間もすると物資がいっぱい集まってしまい、その偏ったことにより逆に苦勞をかけるようです。

今回、ご協力頂いた支援物資は、宮城県看護連盟の看護師の方々を通じて20ヶ所の病院等に振り分けられました。

帰って来てからも「現地で何かお手伝いすることがないですか」「何かしてみたい」という声をたくさんいただいております。

一日でも早く復興できるように祈っており、そのためにもまた行きたいです。その時は是非とも一人でも多くの皆さんとともに参加できればと思っております。

支援物資一覧表

No.1		No.2	
物品	数量	物品	数量
1 冬物女の子用ズボン サイズ140	98	1 フェイスタオル	35
2 冬物女の子用ズボン サイズ150	98	2 ハンドタオル	10
3 冬物女の子用ズボン サイズ160	24	3 タオル 袋入り	60
4 冬物男の子用ズボン サイズ100	10	4 タオルケット	1
5 冬物男の子用ズボン サイズ110	28	5 タオル 2本入り×10ケース	20枚
6 冬物男の子用ズボン サイズ120	33	6 タオル	12
7 冬物男の子用ズボン サイズ130	63	7 浴室用メッシュタオル	3
8 冬物男の子用ズボン サイズ140	10	8 タオル 5枚入り×3箱	15
9 冬物男の子用ズボン サイズ150	77	9 バスタオル	1
10 冬物男の子用ズボン サイズ160	13	10 紳士用靴下 3足セット箱入り	1
11 女の子用ベストシャツ サイズ100～130	37	11 式布団カバー	2
12 子ども用体操服	4	12 石鹸(15個入り)	1
13 子ども用ポロシャツ(黄色) サイズ130	32	13 バスタオル	2
14 子ども用タンクトップシャツ フリーサイズ	69	14 枕	2
15 子ども用夏物ジャンパー サイズ100～120	5	15 タオル 袋入り	22
16 子ども用Tシャツ	3	16 タオルケット	4
17 フリースタートルシャツ	2	17 介護用浴衣 Mサイズ(紐2付き)	4
18 男物毛足アンダーウェア	1	18 39歳女性用アンダーシャツ LLサイズ	19
19 女性用ストッキング(ベージュ)	18	19 39歳女性用アンダーシャツ Lサイズ	40
20 女性用ストッキング(グレー)	3	20 女性用ガードル下着(ピンク)	194
21 女性用ストッキング(3枚組)	9	21 女性用ガードル下着(白)	25
22 紳士用靴下	9	22 サラン 30cm幅×約10m	1
23 アンダーウェア(女性用)	1	23 タオル	20
24 大阪府の水(480mlアルミ缶×24本入り)	24	24 ハブラシ	27
25 肌掛け布団	7	25 女性用T型カミソリ(2本入り)	4
26 パッドシューズ	2	26 風呂用ボールスポンジ	2
27 タオル	27	27 みそ汁	1000食
28 バスタオル	4		
29 ハンドタオル	12		
30 毛布	41		

▼出発前メールの写し

<p>大阪府看護連盟事務局</p> <p>送出人: Jap [09@nks.or.jp] 送信日時: 2011年4月8日水曜日 0:10 宛先: 大阪府看護連盟事務局 件名: 物資収集 添付ファイル: 物資リスト-2.xls; 物資リスト-1.xls; 019.JPG</p>	<p>大阪府看護連盟事務局</p> <p>送出人: Jap [09@nks.or.jp] 送信日時: 2011年4月8日金曜日 16:59 宛先: 大阪府看護連盟事務局 件名: 東大に大阪から</p>
<p>5日現在の収集状況です。これにまだ増えそうです。味増汁(1食用)も約1000食届く予定です。振り分けながら持っていると思います。本日、松村会長からもタオルを頂きました。みかん箱に30箱くらいになりそうです。宮城県仙台市まで通行可能か確認中です。予定としては、8日夕方に大阪出発で9日昼、状況を見たらうて今朝は帰阪します。</p>	<p>今朝持ち込みます。物資リストの最終版です。添付なし。富田会長とも連絡を取っておりますので、ご安心ください。それでは行ってきます</p>
<p>御本</p>	<p>たると</p>



準備

出発

搬送中

届ける

追悼

明治橋支部 永田由紀子支部長の早すぎる鬼籍

～大阪府看護連盟 施設支部設置第一号 支部長の死を悼んで～

永田由紀子氏の死を悼んで

市南支部長 安井 寛子

永田由紀子氏の死を悼み謹んで哀悼の意を表します。

永田さんは、2年前より癌を(子宮体癌)患っていたのですが、手術をして経過良好のところ、去年の7月に再発し、再び療養加療の甲斐なく4月14日8時永眠されました。享年59歳でした。由紀子さんとの付き合いは、ベルランド看護専門学校以来で12～13年になります。とても聡明で実行力があり、私にとっても頼もしい友でもありました。私の後任の看護部長に推薦した所以でもあります。

彼女は、愛される地域の基幹病院を目指し日々奮闘していました。看護の充実とスタッフ教育に情熱を注ぎ、今が一番油の乗っている時でもありました。本人も「看護の仕事が出来ないのなら、死んだほうが良い」とご家族に漏らされていたようです。

又、看護連盟活動にも熱心で、明治橋病院を施設支部第1号として共に立ち挙げその後を引き継ぎ、会員数も100%以上に増え、伝達事項等も施設支部ならではの強みを発揮しておりました。

今では大阪府下の施設支部も30に増え、その第1号としての責任を果たす為にも、常にその役割を自覚され勤めを果たされていたのには頭が下がりました。そして、私の脳裏に焼き付いているのが、去年の総会後の「たかがい氏の決起大会の司会の大役をまかせられ、あのさわやかな弁舌、会の進行等立派に成し遂げられたのが思いだされ目頭が熱くなります。それから直ぐでした。体調を崩され入院されたのは……。

今、悔やまれるのは月1回のペースでお会いしていたのに、貴女の変調に気づけなかった事です。気丈な貴女のことですから、会っていても何事もなかったように振る舞われて居りましたね。専門職でありながら恥じております。

胸がつかまされますが、悲しんでばかりは居られません。永田部長が育てられたスタッフがしっかりと後を継ぎ、貴女が敷かれた路線をまっしぐらに進みゆるぎないものにしてけると確信して居ります。どうぞ、温かく見守ってあげて下さい。

今までの二人の時間に感謝しつつありがとうございました。

心安らかにお休みください。



前列左端(永田氏)

明治橋病院看護部長 角田 ユミ

看護部長と師長の時は、とても厳しく、何事もきっちりしており「いつも何を考えているのだろう」という恐れ存在でした。しかし、副看護部長として部長と接した時は、何もわからない私に細かい部分までやさしく教えて頂いたこと今でも心に残っています。「部長になると注意してくれる人が居なくなるから何でも気がついたことは言ってね。」と言って下さり、やっと体制が整いつつあるところでした。

機能評価受審に向けてとても心配していましたが、早くより地盤を作って下さっていたのでどうにか

乗り切ることができました。もっともっと指導して欲しかったのですが、永田部長の意思を継いでいくことが、部長への恩返しと思っています。ご冥福をお祈り致します。



総決起大会の司会をする故人

合掌

明治橋支部 支部長 鍵本 由起子

私が幹事長に任命されたのは平成19年4月でした。すぐ参議院選挙が始まり永田部長の指導の下、あわただしい日々を過ごした事が昨日の事のように思い出されます。何も知らず過ごしてきた自分を恥ずかしく思うと共に、こんな私に幹事長として本当にやっていけるのかと思い悩む毎日でした。しかし部長から「院内の職員の意識向上と何故政治力が必要なかを理解してもらったらいいのよ」と言われ、それなら何も知らない私だからこそ伝えられる物があるのかもスタッフに連盟活動の大切さを伝えてきました。

4年が経ち連盟活動について少し分りかけてこれからやっとう部長の補佐が出来るようになるかと思っていた矢先に大きな支えを失いました。まだまだ教えて頂きたい事と一緒に活動をしていきたい事が沢山あったのに残念でなりません。

しかし、部長に教えて頂いた事を後輩に伝えていく事が、今後の私の役割と頑張っていくと思います。



明治橋支部 幹事長 神吉 敬子

部長、もうすぐ6月ですよ。去年は連盟総会の運営や「たかがい恵美子と未来を創る会」

総決起大会の司会で、多忙な月でしたね。用意周到、万全の態勢での司会振り。部長らしいお姿で、誇りに思っていました。部長、もうすっかりと日差しが強くなり、日傘を欠かせなくなりました。私はまだ、部長が朝の通勤電車で日傘を抱えて、扇子で扇ぎながらホームから乗り込んでこられるような気がしてなりません。駅でドアが開くたび、お姿が目に見えられます。また、夏の暑い日、2人で選挙事務所開きに参加し、日傘を差し、汗を流しながら演説を聞いたことも思い出しました。いろんな思い出が走馬灯のように浮かべられます。部長、頂いた思い出を大切にいたします。ありがとうございました。



たかがい恵美子候補の街頭応援(梅田にて)

看護学生・新入会員研修報告

～藤野泰平講師 未来の夢を語る～



—講師と母は同郷だった! そして私が今思うこと—

済生会中津看護専門学校 松本 藍



私は今回の講演を聴き、へき地医療の現状を知り、また、藤野さんの考えに共感しました。

藤野さんの出身地である中島は、瀬戸内海に数多くある愛媛県の島の一つで、人口5000人、高齢化率50%、病院が一つあり、都市部と比較すると医療格差が見られます。偶然にも、中島は私の母の田舎でもあります。去年、私の祖母は骨折をしてから食事や水分量が減り、飢餓状態で亡くなりました。その時、私は「田舎だから仕方がない」と思っていました。

しかし、講演で藤野さんの家族の話があり、「都会だったら後遺症を残すことはなかった」という話を聴きました。都市部では医療は日々進歩し続けていますが、中島のような田舎では、救急車もなく、病院は療養型で応急処置が精一杯の状態です。治療を受けるために、救急船による搬送にも時間がかかり、一刻を争う事態では助からないこともあります。その事を考えると、田舎だからこそ充実した医療施設、設備が必要であると気付く事ができました。

藤野さんの講演を聴き、私は十分に勉強をし、経験を積んで、へき地医療で活躍できる看護師を目指そうと決意しました。

—看護の未来について—

済生会中津看護専門学校 山下 展人

私は今まで、看護界がどうなっているかなど考えたことがありませんでした。講演では、看護界の問題として、労働賃金が割に合わない、過労である、休暇が少ない等が挙げられていました。そして、これらの問題がなぜ社会問題として取り上げられて来なかったのか、行政の問題も絡めて説明して頂き、現状を理解できました。講演も、参加者とのインタビュー形式で進められたとても分かりやすいものでした。そして看護の問題を解決するためには、多くの人立ち上がらなければいけないと言われました。その言葉に、僕はとても心を打たれました。藤野さんは看護界をより良い物に変えようと実践し、全ての人々が安心して笑顔で暮せるようにと、使命感を持って行動されています。現在の日本の20代の投票率が25%、30代が35%と低迷しており、これでは国民の意見が伝わっているのだろうかと政治に不安を持ちました。将来を担う私達が、国や行政についてもっと考える必要があり、その為に社会にもっと興味を持ち、視野を広げたいと思いました。



—現職看護師の意見に刺激を受けた—

済生会中津看護専門学校 津口 結衣



今回、講演会に参加して、過剰労働や、地域医療格差、看護師は他の医療職と比較すると昇給率が低いなど、様々な看護界の問題点を知りました。看護師の労働問題の解決には、政治や法律などが大きく関係していることもわかり、政治力の必要性を感じました。政治についてあまり考えたことはなかったのですが、この講演を聞いて考える良いきっかけになりました。また、現在看護師として働いている方などたくさんの意見を聞くことができ、刺激を受ける良い機会となりました。今は未だ学生で考え方も浅いですが、働いてからも色んなところに目を向け、関心を持ち、自分のできることからやっていきたいと思えます。

また、講演会で藤野さんの熱い思いを聞くことができ、面白かったです。自分が看護師になったら藤野さんのように、しっかりと自分の看護観を持ち、目標を持って仕事をしていきたいと思えます。

お知らせ



● 研修会のお知らせ

1. 対象：看護管理者・看護学校管理者
と き：7月22日（金）14：00～16：00
ところ：ナーシングアート大阪
2. 対象：看護を考える地方議員の会の研修
と き：7月頃を予定しています。
【日時が決定し次第お知らせします。連盟会員の自由な参加を予定しています】
3. 青年部研修会
と き：9月24日（土）
ところ：ナーシングアート大阪
4. 第2回 ポリナビワークショップ
と き：平成24年2月4日（土）
ところ：ナーシングアート大阪

● 会員募集をしています。（会費8,000円）

賛助会員は1,000円で連盟活動を応援して下さる方ならどなたでも入会できます。職場が変わって手続きの済んでいない会員は、連盟事務所にご連絡ください。

編集後記

広報誌「おおさか」は今号でNO.11-2(通-43)を発行となります。大阪の看護連盟が広報誌の発行を始めて43号目、I・TがNO.13号から編集を担当して31冊目です。

広報担当幹事としてI・Tこと岩本尹子が編集後記を書くのはこの号が最後になります。大阪の看護連盟の広報誌は“看護連盟～おおさか支部～”としてNO.25号まで発行された後、平成17年度から「リフォーム連盟」新しい組織にということで「大阪府看護連盟」の誕生とともに広報誌のデザイン・ナンバーの表示を変え「おおさか」として発行を続けています。広報誌の発行当時は縦書き右開きでしたが、NO.17から横書き左開きに変更しました。支部報発行のときは年2回、新年号と夏号でしたが、広報誌の使命は会員に連盟活動について少しでもわかりやすく、親しみやすくそして活動への参加意識を喚起することではないかと考えて、私が担当してから6月の総会号を入れたり、状況に応じて臨時増刊を出して年3～4回発行とし、連盟の年間活動が明確に会員に伝わることを心が

けました。少しは連盟活動の理解が深まりましたでしょうか。広報誌作成にあたっては多くの方々に表紙の絵や写真・書などを、また原稿の無理な執筆をお願いしました。特に平成18年夏号から表紙を飾る写真は殆ど現副会長の小阪佳代氏の作品です。今後も連盟活動に励みたいと思っておりますが、広報担当幹事3期9年の任期を終えるにあたり連盟関係の皆様にお礼を申し上げてI・Tが担当した編集後記を閉じさせていただきます。

I・T

